

入試制度・私立編

私立は高校ごとに入試の方法（出願、科目、日程など）が異なります。必ず自分の希望校のことを調べなければなりません。その中で、多くの学校に共通していることを説明します。

【日程】

京都、大阪、兵庫の3府県は毎年**2月10日～12日の3日間で1次入試**を行っています。この3日間に1回だけまたは2回の入試を行います。また、2月後半には1.5次入試、3月下旬に2次入試を行うところもあります。

滋賀県や奈良県は京都よりも1週間程早い日程です。それ以外の遠方の県は1月に行うところもあるので、出願日程も早いため注意が必要です。

【出願方法】

Web登録をして、願書をプリンターで印刷する高校が多いです。一部の高校は紙の願書に手書きで作成します。ただし、どちらも願書は郵送等で高校に送ります。Web登録の場合、受験料はクレジット決済やコンビニ払いも可能、手書き願書は金融機関での振込です。

【受験区分】

専願…「合格すれば必ず入学する」という約束をして受験する区分です。合格したにも関わらず、それを辞退して他の学校に入学することは許されません。しかし、併願より合否判定において優遇があるので、**第1希望が私立の場合**は、ふつう専願で受験します。

推薦…専願の中でも、**高校が定める基準**（学業成績やスポーツ等の実績・技能）を満たし、中学校長に**人物良好であり、高校でも頑張れると認められた者だけ**が受験できる区分です。推薦の資格を得ると、受験において合格しやすかったり、学費の一部免除があるなどの多少の優遇があり、とても魅力的ですが、高校の先生から**大きく期待されて**入学するので、**他の生徒の模範**となる姿勢（努力する姿や活躍）が求められます。

併願…合格しても、他に希望する学校にも合格していれば入学を辞退することができます。**公立高校や他の私立高校・国立学校を第1希望としている人は併願で受験**します。いわゆる「すべり止め」として受験する区分で、日程の都合がつけば複数校受験することも可能です。この併願受験ができるのが公立高校との大きな違いです。また、“一般”という言い方をする高校もあります。

【言式馬兎科目】

5教科、3教科、2教科など、学校によります。科目を選択できるところや面接を実施するところもあります。また、同じ学校でも受験コースや受験区分、日程によっても異なる場合があるので、しっかり確認する必要があります。

【転コース合格】

第1希望のコースが不合格でも、それより合格基準が低いコースの合格点が取れていればそのコースに合格できるシステムがある学校がたくさんあります。回し合格とも言います。

【W受験】

複数の日程で入試を行う学校があり、両方の日程に出願して受験できる学校もあります。メリットは、一方の日程では不合格でも、もう一方で合格点が取れば合格になります。また、得点上位者が奨学金の対象となる場合も、2回受験すればどちらかで高得点が取れるかもしれません。それに懸けてW受験する人もいます。

【検定加点】

英語検定、漢字検定、数学検定で3級や準2級などを取得していれば、入試得点に加点してもらえるシステムがある学校もいくつかあります。推薦基準に検定資格（例えば英検準2級）の取得が条件になっているところも少しあります。

【奨学金】

私立高校は学費が高いですが、少しでも保護者の負担を軽くするために各校独自の奨学金制度を設けている場合があります。そのほとんどは、入試得点の上位何名までとか、中学校の評定がいくら以上などの成績や、部活動の顕著な実績がある生徒に対して支給されます。入学時に奨学金の対象となっても入学後に学業不振に陥ったりした場合には、次年度以降継続されない場合もあるので気を付けてください。

☆今週のお知らせ☆ …配布物やイベントの情報はここで確認

配布物 (4/27~) ※対象者全員に配布したものです。

「**京都工学院**」… 第1回学校説明会 6/6(土)…申込はWebで

掲示、伝達 ※資料配布はしていません。案内チラシが必要な人は、担任または藤花に連絡ください。

「**海洋**」 施設見学会5/30(土)… 申込はWebで